

NGOサンキューセミナー

国際保健・理論と実務

～ 抗生物質と人間、世界の保健政策 ～

日時 : 2019年7月5日(金)
18:00 ~ 21:00

場所 : 日本リザルツ 事務所

東京都千代田区霞ヶ関3-6-14三久ビル503
(丸の内線国会議事堂前駅3番出口より徒歩5分)

講話 : 18:00 ~ 19:00

長崎大学熱帯医学研究所 国際保健学分野 **山本 太郎 教授**
テーマ【抗生物質と感染症、そして人類】

19:05 ~ 20:00

国立国際医療研究センター(NCGM)企画戦略局、国際医療協力局 **井上 肇 局長**
テーマ【世界の保健政策と日本】

質疑応答 : 20:10-21:00



日本リザルツでは、2014年1月より

「サンキューセミナー」という名称で、様々なテーマの勉強会を開催してきました。

このセミナーは、政・財・官を始めとした幅広い分野のリーダーや、

国際舞台で活躍されるキーパーソンが垣根を超えて自由に交流できる場となることを目指しています。

今回は、日本リザルツが根絶を目指す結核などでも問題となっている、多剤耐性と抗生物質との関係について長崎大学熱帯医学研究所の山本太郎教授から、そして様々な感染症に対する世界の保健政策の動向と日本政府との関係について国立国際医療研究センターの井上肇局長からお話をいただき、これからの日本と世界の感染症対策の在り方について考えるヒントにしたいと思います。



山本 太郎 教授

1990年長崎大学医学部卒業、市立札幌病院救急部勤務。95年長崎大学大学院博士課程病理学系専攻修了。98年東京大学大学院医学系研究科博士課程国際保健学専攻修了。1998年-2000年長崎大学熱帯医学研究所助手。JICAジンバブエ国感染症対策プロジェクトのチーフ・アドバイザーや外務省国際協力局課長補佐他、京都大学大学院、ハーバード公衆衛生大学院、コーネル大学医学部、大連医科大学、福建医科大学で客員教授や特別研究員として勤務。2007年から長崎大学熱帯医学研究所で教授として後進の指導にあたる。



井上 肇 局長

国立国際医療研究センター(NCGM)企画戦略局長 兼 国際医療協力局長。NCGMにて小児科臨床研修後、JICAのフィリピン母子保健・家族計画プロジェクト専門家など途上国の現場経験を経て、厚労省にて肝炎対策推進室長、新型インフルエンザ対策推進室長、国際協力室長や結核感染症課長など主に国際保健・感染症分野の職務を担当する。2015年よりWHO事務局長補としてG7、G20、国連総会の首脳級会合に保健議題を上程する役割を担うとともに、AMR事務局長特別代表としてAMRをグローバルヘルスの中心課題の一つとして提示した。昨年秋から現職。東京大学保健学修士、ハーバード大学公衆衛生学修士、帝京大学公衆衛生学博士。

※ 内容は変更される可能性があります。

お問い合わせは、**特定非営利活動法人 日本リザルツ** 担当 : 梅木までご連絡ください。

Tel: (03) 6268-8744

Fax: (03) 3597-3448

E-mail: toshihide.umeki.results@gmail.com